

高校生向け教育プログラム(全体像)

★動画全部で 6 本の予定

第 1 領域(高校 1 年生)

■本領域で習得すること

「性と生殖に関する健康と権利」保障に向けた身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態(ウェルビーイング)なライフスタイル選択のための基礎理解(人権、ジェンダー)

■主に扱う内容 人権、ジェンダーの理解、生命の誕生

■第 1 領域の教育目標と指導内容の例

1-①「京都プレコン」とは

◎主に扱う内容

- ・性と生殖の権利について知る
- ・セクシュアリティは幸福を高める
- ・ジェンダーの偏見をなくしていくために

◎教育目標

- ・京都プレコンとは **★動画(仮)1**
- ・性が人権と不可分であることを知る **★動画(仮)2**
- ・性の多様性がすべての人の織りなす現実であることを知る
- ・セクシュアルマイノリティについても知る
- ・ジェンダー平等実現のために偏見をなくしていく
- ・SOGIE という概念を知る
- ・ジェンダーとセックスについて基本的な知識を得る
- ・ジェンダーバイアスについて考える
- ・「性と生殖に関する健康と権利」保障に向けた身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態(ウェルビーイング)は、人間の基本的な権利であり、個々の多様性と平等を基盤とする。

◎指導内容の例

- ・京都府プレコンとは(人権をベースに性の身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態(ウェルビーイング)を保障する)
- ・そもそも「性」とは「セクシュアリティ」として人間存在の中核をなすもの(『ガイダンス』による)。
- ・からだ、こころ、人間関係、生き方、価値観など幅広い分野にかかわる。染色体の性、出生時に割り当てられた性(戸籍の性)、性的指向・性自認・社会生活上の性(ジェンダーバイアス・アンコンシャスバイアス)などが複雑に絡みあって、一人の人間の「性」を構成している。
- ・一人ひとり異なり、同じ人は一人もいない。多様である。
- ・性は人権であり、どんな人にも性的自己決定権がある。
- ・それは、「誰と恋愛する/しない、結婚する/しない、子どもを(いつ、何人)産む/産まない」についても同様である。

この項目設定の理由

自身のライフデザインを考えていくにあたり、誰にとっても根幹となるのが「人権」の問題である。どんな人生を選択しても尊重され、互いに尊重しあえる基盤として、まずは「人権」を第一に扱う。そして、京都府プレコンに当たっては、パートナーを選ぶ・選ばないの選択と、いつ・何人・産む・産まないの選択を自己決定していけることを目標とする。そのための枠組みとして、ジェンダー・セクシュアリティについての前提知識を得て、一人一人の性は多様であり、選択も多様であり、性の多様性を保障すべきことを確認する。

1-② 思春期の性の健康・身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態(ウェルビーイング)としてからだの変化とケアについて知ろう

◎主に扱う内容

・月経・射精・性との付き合い方

◎教育目標

性を科学的に捉える

- ・性的な感情とは「恥ずべきもの」ではない。
 - ・性別を問わず性的な感情や想像、欲望は自然なものである
 - ・個人差はあるが、生涯を通じて保持されるものである
 - ・自分の尊厳と他人の尊厳と人権を尊重する立場で、自分の性的感情や欲求をコントロールする方法を知る

◎指導内容の例

- ・排卵・月経のメカニズムとケア
- ・射精のメカニズムとケア
- ・受精・妊娠から出産までの科学的な過程
- ・セルフプレジャー
- ・不妊症
- ・性感染症★動画(仮)3

この項目設定の理由

月経・射精については、中学校段階でも扱われる内容ではあるが、プレコンセプションケアのための基本的知識として、改めて確認をする。

月経には周期があり、排卵のタイミングがある程度決まっていること、からだのケア、月経にまつわるトラブルや悩みを解決するための医療的判断基準などを確認する。

また、射精の仕組みを科学的に知り、射精にまつわるからだのトラブルや悩みなどを解決するための知識を確認する。

セルフプレジャーについての誤解や偏見をなくすための知識を確認する。

射精も月経もからだの仕組みを科学的に知ることで、ネガティブなことではなく、ポジティブなこととしてとらえられるような働きかけをする。

1-③ 生命の誕生って奥深い！生殖の科学と権利

◎主に扱う内容

- ・生殖の科学と権利

◎教育目標

- ・ライフサイクルと性
 - ・ライフサイクルを通して、人間の性と生殖について知る

◎指導内容の例

- ・sex★動画(仮)4
- ・受精・妊娠から出産までの科学的な過程(月経・射精も含む)
- ・受精に至る過程(性交) について(科学的な解説)
- ・妊娠による生活への影響

この項目設定の理由

受精し妊娠出産する基本的な仕組みについて、学習する。受精に至る過程を科学的に理解すること、生命が誕生するまでに起こる様々なことを科学的な学びを通して、理解する。生命尊重から自己肯定感を高めることにもつなげていく

第2領域(高校2年生)

■本領域で習得すること

「性と生殖に関する健康と権利」保障に向けたからだの権利を通して、身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態(ウェルビーイング)な人間関係を考える

■主に扱う内容 からだの権利、性的意思決定、暴力の構造的理解

■第2領域の教育目標と指導内容の例

2-① パートナーと身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態(ウェルビーイング)ない関係づくりのための理解

◎主に扱う内容

- ・境界と同意について
- ・恋愛とデート DV・性的同意

◎教育目標

- ・人権とバウンダリー(境界)と同意・合意についての知見を得る
- ・誰もが大事にされるべき尊厳を持っていることを知る
 - ・性暴力の加害・被害をなくすための取り組みとは
 - ・性暴力を受けた際の声を上げられる環境の重要性
- ・ジェンダー不平等が及ぼすリスクとは
 - ・ジェンダー不平等は、性的行動の強制、暴力加害・被害などの温床になる可能性がある
 - ・性的強制や虐待、ジェンダーに基づく暴力に直面した場合の気づきやサポートがあることを知る

◎指導内容の例

- ・「からだの権利」を知る
- ・バウンダリーについてあらためて確認する
- ・バウンダリーが相手・時・場合によって変化することを確認する
- ・通常の生活で大切にされている同意・合意が踏みにじられてしまうケースとはどういうものかを考える
- ・力関係の不均衡、密室、などの要因に加えて、「恋愛のカン違い」が同意や合意を踏みにじりやすいことを知る
- ・恋愛とデート DV について考える
- ・性的同意
- ・性暴力の構造

この項目設定の理由

性交渉や性的行為などでも相手との身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態(ウェルビーイング)な関係性の前提として「同意(性的同意)」の相互尊重を理解する。また、自分と相手の関係性のよりよいつくり方を知り、パートナー間だけでなく、友人関係、家族関係においても、自他のバウンダリーを尊重しあい、嫌なことは NO といえる(言うてよい)、相手の嫌なこと NO を侵害しないことを学ぶことで、主体的にライフデザインを設計することにもつながる。

2-②人工妊娠中絶について知ろう

◎主に扱う内容

- ・避妊と人工妊娠中絶
- ・性的な自己決定

◎教育目標

- ・人権としての性的自己決定権を知る
 - ・性的自己決定権と性的同意・合意について考える
- ・性的な意思決定、同意・合意について
 - ・より安全で相手を尊重する性的意思決定ができるためにはどうすることが必要か
 - ・性的同意・合意を得るために大切なことはどういうことか
- ・性行動に関わる法的な規定を知る
 - ・性的同意年齢、性犯罪規定など
- ・性行動のリスクとリスク回避の知識を得る
 - ・予期しない妊娠、性感染症、相手への依存、相手への「所有意識」など
- ・避妊について
 - ・性行為は妊娠することだけを目的とするわけではない。
→避妊の基礎知識(避妊のメカニズム)
 - ・避妊具・避妊法についての確実で最新の知見を得る
 - ・避妊に協力しないことは性暴力の一つであるという認識を持つ
- ・人工妊娠中絶についての基本的な知識を得る

◎指導内容の例

- ・同意と合意について考える(アニメ:consent it's simple as tea)
- ・避妊の必要性と方法
 - ・コンドームやピルの使用方法(医学的解説)★動画(仮)5
- ・人工妊娠中絶★動画(仮)6
- ・中絶の知識(法律、時期、方法など)
- ・妊娠にまつわる悩みの相談・支援方法を知る

この項目設定の理由

人工妊娠中絶は、性的経験を早期段階で持つ子どももいることから、高校3年まで待たずに早い段階で扱う。また、妊娠の学習(高3段階)と切り分けることで、繰り返し学習する機会創出にもつながる。

2-③ 性感染症を知って、正しく予防しよう

◎主に扱う内容

- ・性感染症

◎教育目標

- ・性感染症について
 - ・予期せぬ妊娠や性感染症の予防に不可欠なリスク低減方策を分析する。性感染症への誤解や偏見をなくす。出産時や、性的虐待、無防備なセックスによってすでに HIV を含む性感染症に感染している場合

は、他者への感染を減らすための方策を含む

◎指導内容の例

- ・性感染症の内容・感染の経路
- ・性感染症の予防

この項目設定の理由

近年、梅毒などの性感染症が増えているという背景もあるため、1 単元として別で取り上げて丁寧に説明する。感染経路などを知り、適切に対処することが、性感染症予防につながることを理解する。

第3領域(高校3年生)

■本領域で習得すること

身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態(ウェルビーイング)なライフデザインに必要な意思決定、プレコンセプションケア

■主に扱う内容 性的意思決定、ライフスタイルの選択、プレコンセプションケア

■第3領域の教育目標と指導内容の例

3-① 恋愛関係からより長期にわたって持続する人間関係へ

◎主に扱う内容

- ・結婚や長期の関係性によって発生する多くの責任があることを考える
- ・人は様々な形で親になり、親になることは極めて多様な責任を伴うことを知る

◎教育目標

これから先の自分の人生を、どういう人間関係を築いていくかという観点で考える

◎指導内容の例

- ・結婚や長期の関係性の主な責任をまとめる
- ・良好な結婚や長期の関係性の主な特徴について再認識する
- ・結婚や長期の関係性における愛情、寛容、平等、尊重の重要性を認識する
- ・親の責任を列挙する(知識)・おとなが親になりうるさまざまな方法を比較する(意図した／意図しない妊娠、養子縁組、里親、生殖技術の使用、代理親など)
- ・障がいのある人や HIV と共に生きる人も含め、それが制限になることなく、すべての人が親になるかならないか、なるのであればいつなるのかについて、本人が決めるべきであることを理解する

この項目設定の理由

具体的な妊娠・不妊などのテーマに入る前に、自分たちが将来築いていく責任ある大人としての人間関係とはどういうものか、さらに、親になるとはどういうことかを考える必要があると考えた。

3-② 子どもをもつということ。妊娠をめぐる知識

◎主に扱う内容

- ・妊娠と社会の関係・必要なこと

◎教育目標

- ・子どもをいつ、何人、持つ・持たないの選択ができることを知る
 - ・子どもを持つ、持たないを選択することができる
 - ・子ども持つかどうか、理由や時期について検討することができる
- ・性的関係や健康問題に関する課題に直面した際の支援先を知る
 - ・家族がお互いを尊重しながら支えあうことで、困難を乗り越えることができる
 - ・性的関係や健康問題に直面した場合、家族やそのほか相談機関・支援システムがあることを知る
- ・性と生殖の権利を侵害することについて知る
 - ・どういったことが性と生殖についての権利を侵害するのかを知る
 - ・それらを排除し、どのように性と生殖についての権利を推進していくのかを知る

◎指導内容の例

・妊娠に必要なこと★動画(仮)7

・からだのケア

・栄養

・やせ・依存症

・喫煙

・月経のサイクルを知る＊復習

不妊とその要因を知る

男性の要因

・射精障がい

・精子欠乏

女性の要因

・排卵障がい

・子宮頸がん・HPV 性感染症

両方に

性感染症(予防・治療)

・妊娠と社会の関係

・貧困や孤立、障がいによる未婚化

・少子化 将来展望の持てない生きづらさ

・やせ

・マタハラ

・マタニティに優しい社会

・核家族化(周囲との関係性の希薄化)

・パートナーとの関係性

⇒ワクチン接種、検査、性感染症予防(コンドーム装着演習)

この項目設定の理由

妊娠するために必要なからだのケアなどについて理解を深める<医学・科学的な側面>、妊娠することを社会の一員としてどう考えるか<社会の側面>の両輪で、妊娠について考える。

3-③ 描こう！あなたの身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態(ウェルビーイング)なライフプラン ＊プレコン実施の必須項目

◎主に扱う内容

・つきあいや結婚、妊娠出産の身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態(ウェルビーイング)なライフデザイン

◎教育目標

自分の将来を見通し、性の権利として、社会生活の改善も含め、個々多様な身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態(ウェルビーイング)なライフプランを描ける

◎指導内容の例

- ・これまでの学びを総合して身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態(ウェルビーイング)なライフデザインを考える
- ・これから生きるうえで気を付けたいことをリストアップする

この項目設定の理由

これまでの学びを総合して、ライフデザインを設計する。